

歳出予算事業概要書

款 項 目	03 民生費 01 社会福祉費 03 身体障害者福祉費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額			所属課コード 1503000000	所属課名 福祉課	内線番号					
					うち復活額	一般財源									
大 中 小 細 事業	009 身体障害者日常生活用具扶助事業 00 00 0	16,234	16,234	15,707	15,707	0	0	実施 計 画	部 章 節 細 節	実施計画計上額					
財源内訳											国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
					節			本年度の財源内訳							
					区分	金額		財源	款	項	目	節	細	節	金額
<p>1. 事業の概要と必要性</p> <p>事業概要 在宅の重度身体障害者（児）に対し、日常生活上の利便性を向上させる用具を給付する。</p> <p>事業効果 日常生活用具の給付により、障害者本人および介護者の身体的、精神的負担を軽減することができる。また、パーソナルコンピューターや聴覚障害者用情報受信装置等の情報機器の給付により、障害者の社会参加を促進することができる。</p>					20	扶助費	15,707	都道	17	02	02	01	001		7,853
									障害者在宅福祉事業費補助金						
<p>2. 根拠法令 身体障害者福祉法</p> <p>3. 用地の状況</p> <p>4. 基本計画との関連</p> <p>5. 本年度の計画効果</p> <p>事業計画 在宅の重度身体障害者（児）に対し、障害内容や障害程度に応じ、移動リフトやたん吸引器等の日常生活用具を給付する。給付を受けた者はその負担能力に応じ、必要な用具の購入に要する費用の一部を負担する。</p> <p>事業効果 歩行支援用具や特殊寝台等の給付によって、障害者本人および介護者の身体的、精神的負担を軽減することができる。また、パーソナルコンピューターやファックス等の情報機器の給付により、障害者の社会参加を促進することができる。</p>					<p>6. 財源の説明</p> <p>財源の説明 (県支出金) 15,707千円 × 1/2 = 7,853千円</p> <p>事務事業評価の反映状況 障害者の日常生活を充実したものにすうえで不可欠な事業であり、またその性格上外部への委託は困難であることから、市によって現状を維持する。</p>										
<p>目的別 性質別</p>															